実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和 7 年度
助成団体	宮崎県都農町
事業細目①	総合型地域スポーツクラブ自立支援事業
事業名①	都農コミュニティクラブ
助成金額①	1,728,000 円
事業細目②	総合型地域スポーツクラブマネジャー設置支援事業
事業名②	都農コミュニティクラブ
助成金額②	1,555,000 円

令和 7 年度総合型地域スポーツクラブ活動助成で、自立支援事業・クラブマネジャー設置支援事業を行っている宮崎県都農町及びその間接助成団体である総合型地域スポーツクラブ「都農コミュニティクラブ」の調査を実施しました。

都農コミュニティクラブは地域住民が中心となり、気軽に様々な活動に参加できることを目的として設立されました。令和 3 年度に総合型地域スポーツクラブ創設支援事業によるくじ助成の支援を 1 年間受け、令和 4 年 3 月に総合型クラブとして設立後、令和 4 年度から活動を開始しました。

現在は空手、ヨガ、スポーツアクティビティイングリッシュ、モルックの活動を行っており、調査当日は朝ヨガ教室を視察しました。ヨガ教室は朝と夜に活動を実施しており、今回は 10 名の方が参加され、指導者の合図に従って、参加者が身体を動かす様子が見られました。

■助成の意義

くじ助成によって、定期教室における会場借料や指導者への諸謝金の支払、クラブマネジャーへの賃金の支払ができるようになり、クラブの安定した教室活動の実施に繋がっているようです。また、SNS を利用した広報活動に充てる費用や新聞に折り込みチラシを入れるための製作費に助成することでさらなるクラブの周知につながったとのことです。

■事業効果を高めるための取り組み

教室の会費徴収に関して、会員側は気軽に教室に参加できるようにするため、クラブ側は安定した資金を確保するために、サブスクリプション型を導入しているそうです。また、新規会員を獲得するために、会員登録は SNS を用いることで簡素化を図る、地域のニーズに合わせて毎年秋にかけっこ教室を開催するなどの取り組みを実施しているとのことです。

■その他

現在の課題としては、クラブの拠点となる場所がないことや講師の確保に苦戦していること、小学生年代の成長に伴い退会者が増えていることが挙げられていました。その対策として、SNSを使って指導者の確保に努めるとともに、現会員の口コミや会報誌を発行することで新規会員の確保に努めているそうです。

■所感

今回調査した都農コミュニティクラブは、地元住民を中心とした活動を展開しており、誰でも教室に参加しやすい雰囲気を感じました。また、今後はクラブの安定的な収入源及び活動場所の確保のために行政と連携を取るとともに、指定管理業務の受託も目指しているとのことで、将来を見据えた活動を視野に入れている様子が印象的でした。

今後も地域住民が多種目のスポーツに参加できる、地域に密着したクラブを目指して発展していくことを期待しています。

（令和 7 年 11 月 20 日往査）

（写真）朝ヨガ教室の様子（※写真提供：宮崎県都農町）



